



岐阜北週報

1月 職業奉仕月間

□ 題 字	永瀬 章	□ 会 長	永瀬 章	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	前田 吉彦	2017-2018
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	西垣 康紀	No.1706
		会報委員長	安藤 重広	18.1.31発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1705 回 例会 1/24 (水) 卓話 (6) 100万\$ 担当：岡田 (一) ・原尾	第 1706 回 例会 1/31 (水) 補正予算報告 次年度委員会構成の発表 100万\$ 担当：会長・幹事・会長エレクト	第 1707 回 例会 2/7 (水) 慶祝行事 クラブフォーラム (7) 担当：国際奉仕委員会

会長挨拶



今日は1月24日、私の故郷の高山ではこの日に二十四日市と称して、年に一度の市が立ちます。この市には近在のお百姓さんの夜なべ仕事で出来た、ざる、しょうけ、桶、などのからの日用品が売り出されます。今では、飛騨高山の風物詩になっています。この日はいつも、今日のように寒く、雪の多い日になります。

さて、先週の土曜日に岐阜グランドホテルで会員増強セミナーがあり幹事の西垣さん、増強委員長谷田さんと3名で参加してまいりました。

ガバナーからあと半年ですが、今年度のテーマでもある『未来を創造しよう』に向け、ロータリー財団の充実と会員増強に『はっぴ』をかけてほしいと要請がありました。特に会員増強においては女性会員の増強に努めるようにとのことでした。世界では、女性の会員は25%である。日本では8%であり、女性会員の占有率を7%まで伸ばしてほしいと要請されました。

分科会では、各クラブの会員数が発表される

出席報告

中、当クラブでの3名10%の純増ということをうれしく思いました。40周年には50名にしたいと発表をしましたので、皆さまよろしくお願いたします。

又、日曜日には、岐阜、大垣地区インターアクト協議会に西垣幹事、波多野インターアクト委員長と参加いたしました。城北高校のインターアクト部は地区では多数の会員を有するクラブです。クラブの顧問の先生から、来年度も是非韓国派遣をお願いしたい旨、要請がありました。今年韓国派遣の酒井さんが、その感想を述べましたが、自分は派遣により、強くなった、とのことでした。できれば、一人ではなく、二人派遣できればと思いました。

出席報告

会員数：33名
 出席数：27/33名
 出席率：81.82%
 欠席者：6名（出席免除 2名 87.09%）

ニコニコBOX (敬称略)

森本 時夫：風邪が長引いて困っています。
 国井 省二：波多野さん友情に感謝して。
 原尾 勝：本日卓話です、宜しくお願いたします。
 岡田一二三：原尾さん宜しくお願いたします。
 川崎 賢二：今年も税理士試験の試験委員に任命されました。

委員会・同好会報告事項（敬称略）

■会員増強委員会

- ・ 20日に会員増強セミナー内容、女性会員の増強・会員純増3%を目指す。
- ・ CNN・フェイクニュースの発信源を活用する。
- ・ DGはAGを任命しなければならない。
- ・ AGは地区レベルの任務を遂行し会員基盤強化、増強はロータリー活動を強化すれば日本ロータリーの20年で25%減は防げたのではないだろうか？
- ・ 2630地区の会員の増加をしていく為には、「変化をもたらす」入会しやすく変化しましょう。
- ・ 1月21日インターアクト協議会が開催されました。

■ロータリー情報委員会

- ・ 1月26日 IGMを行います。
世話人・松野 リーダー・前田
片桐・波多野・川崎・小島・谷藤以上出席
願います。

■会計・松野

- ・ 後期分が未納な方、入金をお願いします。

例会行事（敬称略）

原尾会員の卓話 ロータリーとは

ロータリーの歴史

1905・2・23／ポール・ハリスは3人の友人とその集いを続けて開くことにした、それがロータリーの始まりであった、何事もおきなく話せるとも・・・心から信頼できる友、この信頼・信用が安心に繋がり、お互い同士で商取引も始まり、段々盛んになっていきました。

1906年、ポール・ハリスによってロータリーと名付けられ30名の仲間シカゴロータリークラブが創設されました。こうして志を同じくするクラブが各地に生まれました。

ロータリアンの資格・・・

何事にもしっかりと応えてくれる人。信頼・信用出来る人。

「世の為、人の為に役立つことをしよう」と云う考えのもと「奉仕」と言う考えが、ロータリーの根幹にあります。

地域社会や国際社会に対してクラブが団体で行う奉仕活動・・・

社会奉仕・国際奉仕になります。

本ロータリー

例会行事 続き

1920年、初代事務総長チェイス・ペリーと米山梅吉によって10月20日東京ロータリークラブを創設しました、855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟承認されました。また日本におけるロータリーの発展は目覚しく財団への寄付も群を抜いておりクラブ数2262、会員数89,700余人となっております。こうした背景には、例会の魅力に尽きると思います。

ロータリーの例会は「学びの道場」、入りて学び出でて奉仕せよ

職業奉仕の考えと実践の方法を身に付けるために、毎週例会を開いています。職業奉仕をするにあたって、自身の会社・社員の向上は不可欠であります。

他社との競合に勝つため、商品開発だけでなく全ての社員の[人格の向上・信頼性・奉仕]社員全員の心構えを指針としました。

そしてこの道徳的な指標を自分で出来るように、四つのテストを質問形式にハーバード・テラーはまとめました。

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会風景



次回例会のご案内

第1707回 例会 2月7日(水)

慶祝行事

クラブフォーラム(7)

担当者: 国際奉仕委員会

会報・広報 1月担当 安藤 重広